

コード	304020601
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永重利
担当者	小原義一

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	予防費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	1
基本事業コード	30402	基本事業名称	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	目コード	2
事務事業コード	3040206	事務事業名称	予防費	細目コード	689
関連計画			法令・条例規則等	予防接種法・予防接種健康被害調査委員会規則	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 2類疾病対象者		(対象指標1) 7,632人 (H20.4.1現在65歳以上の者)				
(対象2) その他の町民		(対象指標2) 16,667人				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	二類疾病対象者(インフルエンザ)だけでなく全世帯に受診奨励のお知らせを配布した。	***	***	***	世帯配布1回÷予定	***
		周知広報	1回	100%	回数1回	平成20年度
		①	(達成率分析) 予定どおり全世帯にお知らせを配布した。			
		②				
		②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
重症化しやすい疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的に実施。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***	***	***	二類疾病接種者数	***
		二類疾病接種者数	5,250人	100.5%	5,250人÷前年度二類疾病接種者数5,226人	平成20年度
		①	(達成率分析) 前年度以上の方がインフルエンザ予防接種を受けている。			
		***	***	***	その他の接種者数	***
		②	(達成率分析) 前年度以上の方がインフルエンザ予防接種を受けている。			

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	3	3	1	1	1					
	②										
成果指標	① 人	11,245	10,400	5,150	5,226	5,250					
	② 人	15,642	15,484	7,592	7,873	7,892					
総事業費C (A+B)		千円	31,949	31,996	15,926	16,023	16,070				
直接事業費 A		千円	23,549	23,596	11,726	11,823	11,870				
人件費 B		千円	8,400	8,400	4,200	4,200	4,200				
内訳	従事職員数	人	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	31,949	31,996	15,926	16,023	16,070				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	疾病の発生とまん延を予防する上で欠くことのできない事業であると考える。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	疾病の発生とまん延を予防することは、公衆衛生上最も重要な課題の一つであると考え
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	重症化及びまん延を防ぐ上で、予防接種の実施は適切であると考える。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	集団での発生率は、減少傾向にあり、効果はあるものと考える。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	より多くの方に接種してもらうことにより、疾病のまん延及び重症化を防ぐことは可能と考え
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	患者数の増加及び重症者が増加し、医療費の増嵩が予測される。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	専門知識を有して行う事業であり、事業を実施する人が誰でも良いわけではない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	毎年見直しを行っており、これ以上の削減は難しい。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	今の人員を減らすことは、現在実施している事業ができなくなるため、難しい。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	インフルエンザ予防接種は、受益者負担を取って実施しており、金額をいくらに設定するかについては意見の分かれるところであり、低く設定してより多くの方に接種してもらい、重症化の減少・まん延の予防により、医療費の削減を図る方法と、高く設定して予防接種にも費用が掛かることを自覚してもらう方法があり、実施方法については、十分に検討していく

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	疾病の発生及びまん延を予防する上で、予防接種の実施は重要事業であると考える。
		有効性	重症化を防ぎ、まん延を予防する上で、予防接種の実施は有効であると考える。
		効率性	一般住民への実施について、受益者負担をどのようにしていくか検討していく必要がある。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	インフルエンザ予防に対しては住民の関心も高く、蔓延化防止のためにも有効な事業である。
		効率性	接種費用との関連から受益者負担のあり方は検討を加えること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。